

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	ごみ減量対策事業		担当部署	市民環境部 クリーンセンター廃棄物対策課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value=""/> 11年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと		終期	<input type="text" value="未定"/>
(小項目)		ごみ処理			
施策	6	自然と共生できる循環型社会づくりの推進			
基本事業	1	循環型社会形成への取り組み			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理						
事業対象		市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	EMボカシの無料配布やコンポストの斡旋、生ごみ処理機の購入補助等、既存の事業の普及を図るとともに、市民全体を対象とした、さらなるごみの減量や発生抑制、再資源化について、具体的かつ実効性のある取り組みに関する啓発を推進する。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	コンポスト38個 274,968円 EMボカシ200個 237,600円 電気式生ごみ処理機40基 800,000円 計1,312,568円 EMボカシの無料配布やコンポストの斡旋、電気式生ごみ処理機の購入補助等、既存の事業の普及を図るとともに、市民全体を対象とした、さらなるごみの減量や発生抑制、再資源化について、具体的な取り組みや実効性のある啓発を推進する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		全体のごみ排出量(資源ごみ集団回収を除く)	18,000	17,770	17,540	17,310	17,080	t

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	コンポスト26個 195,970円 EMボカシ159個 184,572円 電気式生ごみ処理機25基 459,000円 計839,542円 小学4年生に社会科副読本「くらしとごみ」を配布。ごみ減量スローガンコンクールを実施。入賞作品をクリーンセンター多目的コーナーに展示し、ごみ減量の啓発を行った。 うずしお女性学級を対象に「まちづくり出前講座」を開催し、ごみについての3R意識の向上を図った。オリジナルマイバッグ運動を呼び掛け、ごみ減量への啓発を図っている。生ごみの次に多い紙類中の雑がみ回収について、まずは職員から取組み、衛生組合連合会、自治振興会へも回収を依頼した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標	1 EMボカシ無料配布	191	159	160	160	160	世帯
	2 コンポスト斡旋+電気式生ごみ処理機購入補助	42	51	55	55	55	世帯
成果指標	全体のごみ排出量(資源ごみ集団回収を除く)	18,187	17,754	-	-	-	t
	目標達成率(実績/目標)		100.1	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	0	0	48,369	2,000	50,369
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	48,369	2,000	50,369
		決算額	0	0	0	44,207	0	44,207
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)	総人件費		総事業費	
		0.8	0.0	5,706	49,913			

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	1,573	44,207	48,807	48,807	48,807
	うち一般財源	0	0	0	0	0
	人件費	5,487	5,706	5,706	5,706	5,706
	総事業費	7,060	49,913	54,513	54,513	54,513

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		各家庭での取り組みや小学校での学習を通じて、ごみ減量への意識向上を図ることができた。
	効率性	B:概ね効率的だった		継続した事業でもあり、効率的な処理、運用の手法は確立されている。
②成果に対する評価	指標名	全体のごみ排出量(資源ごみ集団回収を除く)		ごみ減量のための補助制度と啓発活動を行ってきた結果、全体のごみ排出量は減少し、目標達成となった。
	目標	17,770	t	
	実績	17,754	t	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		ごみ排出量は減少し、目標は達成することができたが、EMボカンの無料配布の利用者数は減少していることから、総合的な評価はB評価とする。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	EMボカンの無料配布の利用者数について、一定数の利用は継続してあるものの減少傾向が見られるため、継続した広報活動により利用者増加への取り組みを強化する必要がある。さらなるごみ減量に向けて各家庭における意識向上が図られるよう、今後も取り組みを進めていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	現在の事業を継続していくことに加えて、生ごみの水切りや雑がみ回収について、各地域団体へ出向いて説明と啓発を行い、ごみ減量に向けた取り組みがより一層強化できるよう働きかけていく。			
	H30年度	同上			